

令和7年度 第1回嬉野市未来技術地域実装協議会
議事録

1. 開催概要

日時：2025年7月4日（水）13:30～15:10

場所：嬉野市役所 3-1 会議室

2. 議事

- (1) PT1：嬉野の魅力を全国・全世界に発信する環境づくり事業について
- (2) PT2：来訪者の移動を支えるモビリティサービスについて
- (3) その他



協議会の様子

3. 意見・質疑等

- (1) PT1 について

株式会社まちづくり嬉野

- ・ 最終年度なので、目標として検討して欲しいものを3点ほど考えた。外国人観光客が増えていることもあって、アップリフトや駅前のまるくアイズではスタッフの人員を増やしている。スタッフには佐賀大学の学生もいれば、地方の方も存在し、観光案内面でのリテラシーに差が生じている。嬉野のマッピングデータと嬉野散歩やデジタルモールなどの3Dデータをうまく活用すれば観光案内におけるリテラシーの差を埋められるのではないかと思った。今年度、塩田・嬉野・吉田地区、それぞれで観光案内のマニュアル化や多言語対応がしやすい環境づくりを行っていただくと助かる。
- ・ 2点目は“今回の事業を誰が運営管理するか？”の話で、将来的な運営体制には若い世代の実装者が絶対に必要だと考えている。高校生や佐賀大学のインターン生を1人か2人は運営側の人材として必要と考えられ、今年度事業を通した運営サポートの一環として、若手の人材育成に繋がるサポートを行って頂ければ、嬉野の街づくりに活かせると思う。
- ・ 最後にデータプラットフォームの件で、10年くらい経った時に“このデータは誰のもの？”というデータ帰属に関する問題が生じる可能性がある。データの管理体制を決めておいた方がいいと思った。

事務局（協力企業）

- ・ 嬉野散歩とメタバースの3DモデルデータをGoogleに誘導できれば多言語対応もできると考えていた。撮影した360度の写真は、嬉野散歩に捉われずGoogleに移転しておけば勝手に運営されるということもあると思う。
- ・ 2つ目の運営体制については、これまでに撮影したデータの有効活用を、高校生運営も含めて一緒に議論させてもらいたい。今観光に携わっている方達は情報に弱くてそれが判断できない。その人達にわかるようになってもらうよりも、わかる人を入れた方が早い。そのチャレンジとして、高校生モニターを投入してイノベーションが起きないかと思っている。アップリフトやまちづくり嬉野との関係も含め、人材育成面での連携ができればと思う。
- ・ データプラットフォームについては、我々も考えているところである。LINEの情報は特に個人情報を抱えているので、市が運営してきた状態のままで移譲できるとは思っていなかった。早急に管理体制を整理し、案をもとに議論をさせてもらいたい。

嬉野温泉観光協会

- ・ 観光協会の会長になり、棚卸しを兼ねてヒアリングを行っている。運営体制などの課題は見えているものの、可能性もたくさんある組織だと思っている。観光協会では旅行業を取得しているので旅行商品を販売する資格はあるが、それがまだ活かせていない。旅行業として黒字化していかないと、免許剥奪になる可能性も出てくるので、今後は旅行商品を作って販売していきたいと思っている。電子チケットでのツアー販売、モノだけでなくコトも売っていききたいと考えた時に、嬉野商店はそれが販売できるシステムになっているか？紙のチケットではないやり方で販売をしていきたい時に対応可能なシステムとなっているか？が重要と考えている。茶畑のツアーなど、時間やサービスの販売が出来る、嬉野商店は観光協会らしい EC サイトになると思った。

事務局（協力企業）

- ・ EC サイトは、らくるカートというヤマト運輸の商品を使っている。湯遊チケットの販売ができるか等を調べていたところだったので、早急に調べて可能性を相談させてもらいたいと思う。

議長（嬉野市長）

- ・ 実務はやっていないが、実は私も観光協会に所属している。もし嬉野商店で販売できるのであれば、「市長が企画するツアー」も面白いかもしれない。ダークツーリズムというか、華々しい歴史ではなく、廃墟巡りなどの渋めのツアーが流行っていて、大手代理店が販売しないような商品であり、かつ、一定のコミティーにリーチするような商品を作りたいと話している。特にヨーロッパの方はそういうツアーを求める傾向もあるので、EC サイトの活用も含めて考えていければと思う。私も最大限協力させてもらいたい。

議長（嬉野市長）

- ・ 本年度の事業計画について諮りたい。事業を承認する方は挙手を。

各委員

- ・ （全員挙手）

議長（嬉野市長）

- ・ 本年度の事業計画については承認された。

（２）PT2について

株式会社まちづくり嬉野

- ・ 最終年度で色々判断することになるのでセンシティブに考えられていると思うが、ひとつの案として発言する。駅前のマリOTTホテルが 1 時間に 1 便運行している中心部向け送迎車両の利用者がかなり増えている。外国人で滞在型のお客様の利用が相当多く、1 時間に 1 便の運行でも必ず利用者がいる状態で、費用対効果を考えた場合、ドライバーを 1 人雇った方がいいのではないかと話も出ている。今後は、駅とまちなかの循環だけでなく、自然の中のアクティビティコンテンツなどの利用形態も増えていく気がしていて、利用需要や利用形態の変化をベースに、提供する乗り物考えた方がいいのではないかと考えている。インフラとして走らせるラストワンマイルを考える場合、果たして本通りや国道をレベル 4 で走らせることを目指す乗り物が良いかは疑問である。運転が難しくなれば、シルバー

人材や交通事業者 OB がドライバーになり、深夜も含めてずっと 20km/h 走行でグルグル走る乗り物でも良いし、乗りさえすれば必ず旅館まで戻れるとか、病院に行きたい高齢者の方も 1 時間に 1 本は乗ることができる乗り物の方が、本来の趣旨に合っているように感じる。インフラとして投資する場合、集客施設が多いところを 20km/h くらいの速度で走ってくれた方が、高齢者や学生が乗るイメージが湧く。民間と行政がお金を出し合って、セーフティネットとしてのラストワンマイルも一案としてあると思った。ライドシェアとの両輪も可能性のある手法という気がする。

事務局（協力企業）

- ・ 色々な目的を重ね合わせた運行によって、サービスを効率化していくことも今後必要になってくると思った。ドライバーが必要ないレベル 4 は将来的な話であり、当面のレベル 2 での運行も見据え、どんな車両にするかも含めて考える必要がある。マリOTTには過年度ヒアリングをさせてもらって状況をお聞きた。その時は、費用負担という面では難しいが、敷地の協力はしていただけるという回答はもらっている。今後も意見交換をさせてもらいながら、多様な移動支援に活用可能なモビリティとしての検討を行い最終年度の結論を導いていきたい。

議長（嬉野市長）

- ・ 生活の足という視点から意見を言わせてもらおうと、自動運転車両を町に根付かせたいと思った背景は、新幹線開業で駅から町までの 1.2km の移動支援をどんなモビリティで結ぶかがきっかけだった。その時点で、地域の公共交通が先細っていくことは見えていた。新幹線開業を機に収益アップに繋がる観光の成功例を作ること、そして将来的には台数を増やして地域のお年寄りが買物・通院に使える乗り物、しかも採算が合うものを完成形・理想形に掲げていた。当時は、自動運転の車両購入費が 4000 万円程度であり、時間の経過により少し安くなるとの期待もあったが、現実には意に反し倍以上の価格になってしまった。原点に戻ると、今回の事業は公共交通が先細る中で地域の足と観光客の足のベストミックスを探っていくための取り組みであり、そう考えると、最適解は必ずしも自動運転ではないかもしれない。先ほどの意見のように、マリOTTの車両に相乗らせてもらおうとか、低速でグルグル回る乗り物とか、ライドシェアも解決方法の一つかもしれない。実証実験を通じてニーズを探り、そして、交通手段があることが地域の稼ぐ力に繋がるかなど、スムーズに導入を図るための基礎データを集めるという観点で考えていただければと思う。

久留米工業大学

- ・ マリOTTの話が聞き取れなかったのも、それと合わない話をしてしまったら申し訳ないが、目標は自動運転のレベル 4 の実装ではないと思っている。自動運転車両が走ることで観光客が増えて商店街が活性化する、クロスセクター効果が得られる、ふるさと納税などで町が潤うなど、様々な効果が自動運転にはあると思う。無理にレベル 4 にこだわるのではなくて、自動運転車両の活用の仕方、また、うまくブランディングをすることで観光客を誘客して商店街の活性化に活用できるのではないかなと思う。せっかく自動運転車両が使えるというチャンスがあるので、それを使った効果測定を行いながら、嬉野市にフィットするうまい使い方を見出していくことが良いと思う。そのポテンシャルというか、期待できる部分は大きいのではないかなと思った。レベル 4 にこだわる必要がないという市長の話もその通りだと思った。

議長（嬉野市長）

- ・ 将来の選択肢として議論を続けていき、ベストミックスを探っていきたい。

議長（嬉野市長）

- ・ 本年度の事業計画について諮りたい。事業を承認する方は挙手を。

各委員

- ・ （全員挙手）

議長（嬉野市長）

- ・ 本年度の事業計画については承認された。

（３）その他

事務局（協力企業）

- ・ 本日会場の方にはうちわを配布しているが、嬉野では 8/11 に花火大会が行われる。昼の時間帯から、デジタルモールでライブ中継を行う。ご家族一緒にデジタルモールにアクセスして、ぜひご参加いただきたい。

以上